

銅 賞

守りつづけよう大切な水

黒田 崇弘

大刀洗町立 菊池小学校

ぼくは、水道からいつもずっときれいな水が出つづけるのは何でなんだろうとふしぎに思っていました。ぼく達は毎日、料理やお風呂トイレに水を使ってよごれた水を流しているのに、水道からはいつもきれいな水が出てくるからです。ぼくは、社会科見学で下水しより場に行くことになりました。じゅ業で先生から

「下水しより場は、使った水をきれいにするしせつです。」と教えてもらっていたので、見学の日を楽しみにしていました。

下水しより場に着くと、まずどのように水がきれいになっていくのかをDVDで見せてもらいました。次に、中央かん理室に行くと、大きなモニターがあつて、パソコンで水量や水しつや薬の量をコントロールされていました。ぼくは、よごれた水は薬できれいになるんだと思っていたけどちがつていました。その後、けんびきようでび生物を見せてもらいました。び生物はあまり動いていなかったけど、このび生物が水によごれを食べるとという事を教えてもらいました。大きさは、1ミリにも達しないび生物が水をきれいにする力があるなんて思ひもよらなかつたです。他にも外に出て、ちんさ池やさい初ちんでん池、反のうタンク、さい終ちんでん池、そして消どくせつびを見学しました。初めはにごつていて、くさいにおいの水が、せつびをすすむごとにだんだんにごりもおいもなくなり、さい後にはとてもきれいな水になっていったのでとてもすごいなと思いました。そして、し

せつの人がこのきれいになった水が川へともどる事を教えてくれました。

その日家に帰つて、ぼくは家族に節水してみようと話をしました。

インターネットで調べてみると、一人が一日に使う水の量は約250Lとありました。ぼくの家は六人家族なので、一日に約1500L使っている計算になります。とてもたくさんさんの量を使っているの、水を出しつばなしにしないようにしたり、び生物がなくならないためにも、油を流さないように気をつけたり、家族みんなで出きることにチャレンジしました。

地球には、水がいっぱいあるけどすぐに使える水は、少ししかないと聞きました。そのためぼくたちは、このきれいな水を守るように、自分たちにできる事をがんばつて、水を大切にすることをもちつづけたいと思います。